

豊岡市地域デザインプラン素案の概要 【日高地域】

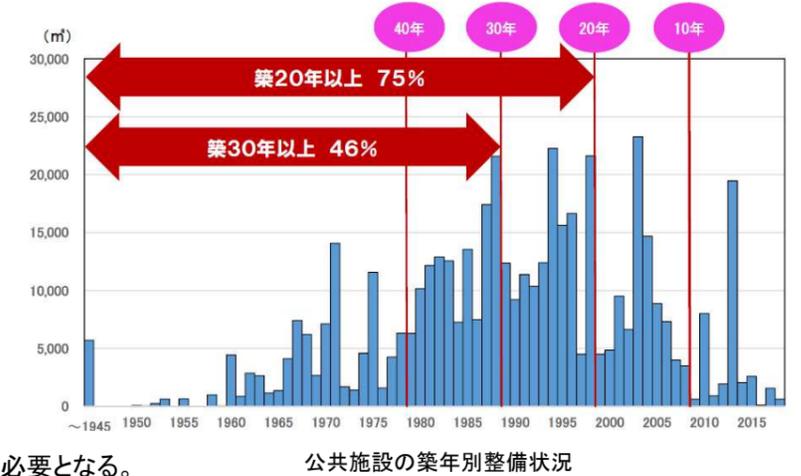
1. 地域デザイン懇談会の経過 (日高地域)

開催日	会場・人数	テーマ	概要	議事概要	
				WSの結果	アンケートの結果
第1回 4月10日 (土) 13:30-	■会場: 日高地区 コミュニティセンター ■参加者人数: 27名	地域を 知ろう	地区別(6テーブル)に分かれ、日高地域の公共施設に対して、5つの指標を用いて定性的に評価した。	・各施設への定性的な評価や比較がされた。 ・地区ごとの評価や利用状況等に対する意見があった。	・公共施設マネジメントについての理解が深まった。(全員が回答) 【自由意見抜粋】 ・新しい発見があった。 ・市内の施設等の場所が理解できた。等
第2回 7月20日 (火) 19:00-	■会場: 日高健康福祉 センター ■参加者数: 23名	地域の課題 を探ろう	地区別・年齢別(各6テーブル)に分かれ、公共施設と自身の生活との関わりから、課題を整理した。	・図書館や博物館施設への意見が多かった。 ・施設(ハコ)に対する意見より、施設(サービス)に対する意見が多かった。	・取り扱いが気になる施設として博物館が挙げられた。 【自由意見抜粋】 ・年代別の意見交換が楽しかった。 ・色んな意見が出て参考になった。等
第3回 8月10日 (火) 19:00-	■会場: 日高文化体育館 ■参加者数: 23名	具体的な 公共施設の 利活用 を語ろう	年齢別(5テーブル)に分かれ、公共施設の機能集約に向けて具体的に対話を行った。	・博物館や図書館、健康福祉施設への意見が中心となった。 ・博物館への機能集約や機能移転、健康福祉施設の統合化などの意見があった。	・博物館の利活用に対する意見が多かった。 【自由意見抜粋】 ・具体的な意見が出てきて、ワクワク。 ・色々な意見が聞け、楽しい時を過ごせました。等
第4回 10月8日 (金) 19:00-	■会場: 国府地区 コミュニティセンター ■参加者数: 25名	具体的な 公共施設の 利活用 を語ろう	年齢別(5テーブル)に分かれ、施設の平面図等を用いて、より具体的な機能集約に向けた対話を行った。	・健康福祉施設を老朽化が進んでいない施設に機能集約する。 ・博物館施設に、図書館機能や子育て機能を集約する。 ・博物館施設はそのままにする。等	【自由意見抜粋】 ・同じ施設でグループによっていろいろな意見が出て面白い。 ・日高地域の今後を見る機会になった。 ・WSの時間が短かった。等
第5回 11月11日 (木) 19:00-	■会場: 日高庁舎 ■参加者数: 18名	公共施設の 将来の使い 方を語ろう	公共施設の類型別(5テーブル)に分かれ、日高全域の地図を用いて、ゾーニング等の公共施設のあり方について対話を行った。	・公共施設の機能の集約について、日高地域全体で考えた意見が出た。 ・ゾーニングや地域管理等の意見もあった。	・スリム化やもったいないなど、懇談会のテーマを伝える人に伝える際の言葉が挙げられた。 【自由意見抜粋】 ・公共施設の統廃合の意義が理解できるようになった。等
第6回 12月10日 (金) 19:00-	■会場: 日高地区 コミュニティセンター ■参加者数: 21名	地域の将来 を語ろう	公共施設の類型別(6テーブル)に分かれ、これまでのアイデアを踏まえて公共施設のあり方や地域でできることについて対話を行った。	・各公共施設のアイデアに対するコンセプトや地域でできることについて対話を行った。	・公共施設に関する考え方は、変わっていることが分かった。(約9割が変わったと回答) 【自由意見抜粋】 ・公共施設について関心が高まった。 ・地域のことを真剣に議論できたと思う。等

2. 地域デザインプラン作成の趣旨

豊岡市の公共施設の現状と課題

- 保有量が多く老朽化する施設
 - ・574施設、総延床面積 48.7 万㎡(市民一人当たり 5.6 ㎡)を保有している。
 - ・築30年を経過した公共施設が2019年時点で46%あり、10年後にはその割合が75%になるため、今後多くの施設で改修や建替えの時期が到来する。
 - ・現在の施設をそのまま維持・更新する場合の費用を試算すると、今後40年間で総額1,828億円(年平均約46億円)が必要となる。



施設保有量の数値目標

- ・施設の更新に必要な約46億円に対して、充当できる経費は21.2億円/年(長期財政見通し(2016年5月公表)から試算)である。
- ・不足額の解消のためには、長寿命化(施設を有効活用して長く使用)とあわせて、40年間で公共施設の延床面積を34%削減することが必要となる。

地域デザイン懇談会の趣旨

地域のまちづくりや賑わいづくりを見据えながら、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、ワークショップを通して対話を行うため、旧市町単位を基本に地域デザイン懇談会を開催した。

地域デザインプラン作成の趣旨

地域デザイン懇談会(市民ワークショップ)での対話を通じて生まれた、地域内の公共施設へのアイデア等を、地域デザインプランとしてとりまとめ、今後の協議やプラン推進に活用する。

公共施設の「賢い使い方」をまとめよう

1. 必要な機能(市民サービス)を確保し市民の暮らしを守る。
2. 次世代に負担と責任を先送りしない。

「あったほうがいい」

↓ 転換 ↓

「本当に必要なもの(機能)を賢く使う」

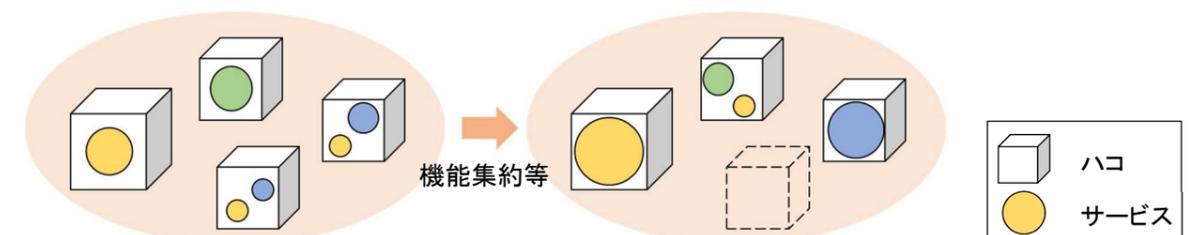
3. 地域デザインプランで掲げる “公共施設と共に歩む市民生活の将来像”

公共施設をスリム化しよう!

～無駄を減らし、心豊かに生きていくための小さな工夫を集めよう～

4. 地域デザインプラン(豊岡市の公共施設)の基本的な考え方

公共施設のハコは減らしても、サービス(機能)は減らさない。



豊岡市地域デザインプラン素案の概要 【日高地域】

5. 地域デザインプランのアイデア一覧

公共施設の種類	施設名称	公共施設を賢く使うためのアイデア(地域デザイン懇談会での検討結果)
01 庁舎等	日高振興局	【アイデア】コンセプト:行政事務のスリム化・質の高い公共サービスの場-「統合」 ■福祉機能の集約先となることで、複合的機能を有する。
02 その他行政系施設	円山川防災センター	【アイデア】コンセプト:地域防災の学びの場-「移転」 ■利便性を考慮し、防災機能を、地域の中心に集約し、機能強化を図る。
03 消防施設	日高分署	【アイデア】コンセプト:命をつなぐ場-「継続」 ■現状を維持する。
04 コミュニティセンター	各地区のコミュニティセンター	【アイデア】コンセプト:地区住民の絆を深める場・気軽に色々な人が利用する場-「継続」 ■振興局のような場にする。
07 図書館	図書館日高分館	【アイデア 1】コンセプト:本の貸し借りは移動図書館-「転用」・「移転」 ■振興局にある図書機能を他施設に移し、空いたスペースに社会福祉機能を入れることで、振興局のサービスの効率化を図る。 【アイデア 2】コンセプト:世代間交流の場・情報を集め、知識を身につける場・紙に触れて、ものを書く場・勉強できる場-「移転」 ■図書を大人向け図書と子供向け図書に分け、それぞれ別の施設に移し、それぞれの施設の価値向上と利用促進を図る。
08 博物館・資料館	植村直己冒険館 歴史博物館「但馬国府・国分寺館」	【アイデア 1】コンセプト:見て触り、本物に出会う場・知識を身につける場・外への情報発信・自然に触れる場・新しいものは現場-「継続」 ■展示物の価値も高いため、機能は移さず現状を維持する。 【アイデア 2】コンセプト:「譲渡」・「移転」 ■博物館機能を他施設に移し、建物を民間に売却・譲渡する。 【アイデア 3】コンセプト:知識を身につける場・外への情報発信・小規模多機能化・新しいものは現場-「移転」・「統合」 ■博物館機能を一つに集約し、施設価値を高める。 【アイデア 4】コンセプト:親子が集う場・体を使う場・小規模多機能化-「統合」 ■子育て機能や図書機能を集約することで、同世代の憩いの場とする。 ■子育て等の相談ができる空間にする。 【アイデア 5】コンセプト:知識を身につける場・小規模多機能化-「統合」 ■大人向け図書機能を集約し、学生が勉強でき、静かに過ごせる空間にする。
10 健康福祉施設	日高健康福祉センター 日高東部健康福祉センター	【アイデア 1】コンセプト:「譲渡」 ■地域で管理することで、地域の利用を促進する。 【アイデア 2】コンセプト:身近な健康づくりの場-「譲渡」・「移転」 ■健康福祉機能を他施設に移し、建物を民間に譲渡する。 【アイデア 3】コンセプト:市民に優しい福祉-「譲渡」・「移転」・「統合」 ■老朽化の進んでいない施設に集約し、デイサービス機能は民間に任せる。 【アイデア 4】コンセプト:市民に優しい福祉・福祉の窓口 1ヶ所・健康づくりを拠点とした地域づくりの場-「移転」・「統合」 ■地域の中心に集約し、利便性を高め、利用を促進する。 【アイデア 5】コンセプト:市民に優しい福祉・福祉の窓口 1ヶ所・身近な健康づくりの場・福祉ゾーンと健康ゾーン・健康づくりを拠点とした地域づくりの場-「移転」・「統合」 ■福祉機能を中心地にある振興局に集約、健康機能を老朽化の進んでいない施設に集約し、健康福祉施設を一つとする。 【アイデア 6】コンセプト:身近な健康づくりの場-「移転」・「統合」 ■ジム機能は集約し、プールの機能は小学校跡地へ移す。 【アイデア 7】コンセプト:「統合」 ■子育てや博物館の機能を集約する。
14 医療施設	神鍋診療所	【アイデア 1】コンセプト:「継続」 ■現状を維持する。 【アイデア 2】コンセプト:「譲渡」・「移転」 ■図書館のスペースに医療機能を移し、空いた建物に民間を誘致する。

公共施設の種類	施設名称	公共施設を賢く使うためのアイデア(地域デザイン懇談会での検討結果)
15 観光センター	道の駅「神鍋高原」	【アイデア 1】コンセプト:経済効果の発現-「継続」 ■現状を維持する。 【アイデア 2】コンセプト:経済効果の発現-「譲渡」 ■地域で管理する。(委託を受ける)
16 スポーツ施設	日高文化体育館 神鍋野外スポーツ公園 神鍋高原体育館	【アイデア 1】コンセプト:市のものも自分たちのものとして大切に利用-「継続」 ■現状を維持する。 【アイデア 2】コンセプト:「移転」 ■小学校の体育館など、周辺施設にスポーツ機能を移す。
17 レク施設	湯の原温泉 オートキャンプ場	【アイデア】コンセプト:地域の資源(ビジネス)-「譲渡」 ■地域で管理することで、愛着や向上心につながり、高齢者の働く場ともなる。
18 温泉施設	神鍋温泉 ゆとろぎ	【アイデア】コンセプト:経済効果の発現-「譲渡」 ■地域で管理する。(委託を受ける)
19 産業系施設	日高農林漁業体験実習館 殿食材供給施設 日高農林産物加工研修所	【アイデア 1】コンセプト:民間とのつながりが大切な場所-「譲渡」 ■食品関係の民間会社に譲渡する。 【アイデア 2】コンセプト:「移転」 ■加工研修所の機能は移し、施設(ハコモノ)はなくす。 【アイデア 3】コンセプト:商売っ気を出して頑張る場・みんな 1 回行ってみよう!の場・課題と課題をかけあわせて産業にする場・獣害対策と組み合わせて産業を生み出す場-「移転」・「統合」 ■一つの施設に集約し、体験も加工販売もできるようにする。
21 中学校	各中学校	【アイデア 1】コンセプト:「継続」 ■現状を維持する。 【アイデア 2】コンセプト:「転用」 ■廃校のグラウンドをキャンプ場などにする。 【アイデア 3】コンセプト:中学校は一つ-「統合」 ■小中学校を各 1 校ずつに統合し、設備を充実させる。
22 小学校	各小学校	【アイデア 1】コンセプト:「継続」 ■現状を維持する。 【アイデア 2】コンセプト:「転用」 ■廃校のグラウンドをキャンプ場などにする。 【アイデア 3】コンセプト:「転用」 ■統廃合後の空いた建物を活用して、高齢者の会社を作る。 【アイデア 4】コンセプト:そのうち、小学校が 2 つ!!!将来的には 1 つ!!!選べる小学校【新しい形】-「統合」 ■小中学校を各 1 校ずつに統合し、設備を充実させる。
24 幼稚園	日高幼稚園	【アイデア】コンセプト:「継続」 ■幼稚園はこども園にする。
28 その他子育て支援施設	日高子育てセンター	【アイデア 1】コンセプト:「移転」 ■健康福祉施設に子育て機能を移し、機能を強化する。 【アイデア 2】コンセプト:「移転」 ■博物館に子育て機能を移し、機能を強化する。
36 交通関係施設	We ぷらざ	【アイデア 1】コンセプト:「継続」 ■駅を最も利用している高校生のためにも維持する。 【アイデア 2】コンセプト:駅舎を盛り上げて楽しい場・駅を通る全員が楽しめる場・通学で通るすべての学生が楽しめる場-「譲渡」 ■一部を貸して、高校生向けの販売を行ってもらう。